

2017年11月21日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【今週は、サンクスギビングデー(感謝祭)です】

毎年11月の第4木曜日は、米国のサンクスギビングデー(感謝祭)です。

そして、今年は、たまたま、その日は、「日本の勤労感謝の日(11月23日)」に当たります。

毎年、繰り返し述べていることですが、米国のサンクスギビングデー(感謝祭)、日本の勤労感謝の日(11月23日)を境に、マーケットは徐々にクリスマス相場に入っていきます。

マーケット参加者が少なくなれば値が跳びやすくなったり、思うような値段で売買できなかったり、さまざまな弊害が生じます。

例年であれば、この時期までに利益確保のめどをつけておくべきですが、今年は、北朝鮮問題や、ドイツの連立政権問題など、不確定要因があり、消化しきれない雰囲気です。

それなのに、クリスマス相場が近づいてきたという感じです。

そういった状況のため、不完全燃焼の状態が長く続き、例年のクリスマス相場の時期(シーズン)が来ても、取引を続ける覚悟の投資家も多くいると思います。

しかし、北朝鮮問題を筆頭に、さまざまな問題が未解決のままです。

北朝鮮問題は、簡単に解決することはないのだろう、と考えます。
(多くの人が、同様に考えていると推量します)

だからこそ、12月に入り、どんどん相場が薄くなっていく時に、未消化の問題がクローズアップされて、相場が強烈に動き出すリスクはある、と考えています。

サンクスギビングデーの直後に、すぐにマーケットが薄くなるわけではないので、あわてることも無いのですが、年内の取引を早めに手仕舞えるように、そのように心がけることが大切だ、と思っています。

既に述べた通りに、年末はリスクが高くなると考えるので、年末までマーケットに残る必要は無い、とも考えています。

言い換えれば、例年の時期ならば、来週からクリスマス相場に突入ですが、今年は、すぐに相場から離れる必要はない、と考えます。

ただし、本格的なクリスマス・シーズンになったら、例年通りに、『クリスマス相場の期間は、相場をやらない方が良い』と、個人的には、考えています。

その点では、セオリー通り(基本通り)に考えています。

+++++

(2017年11月21日東京時間15:00記述)